

愛媛には世界に名を残した著名な探検家・冒険家が存在した!!

高知県香美市にある龍河洞の全容を8年がかりで明らかにし、日本各地の洞穴を調査してその魅力を伝えた「洞窟探検のパイオニア山内浩」。自転車の旅を中心に世界の山々に登頂し、サハラ砂漠徒歩縦断や、北極点単独徒歩到達を達成した「サイクリスト・登山家で冒険家の河野兵市」。開拓時代のアラスカ・カナダにおいて、金鉱探索・トレイル(雪道)開拓で大活躍し、犬橇使いの神様と呼ばれた「オーロラに駆けるサムライ和田重次郎」。

本展覧会におきましては、「未知への挑戦と開拓」に挑んだ彼らの業績と生涯について、本人ゆかりの実物資料や、関連資料・貴重な当時の写真・書籍等を用いて、人物ごとに紹介いたします。



洞窟探検のパイオニア 山内 浩 (1903 ~ 1982)

明治36年、上浮穴郡弘形村(旧美川村、現久万高原町)生まれ。本格調査をした龍河洞では「記念の滝」を上り、未知の鍾乳洞を発見、8年がかりで4kmにおよぶ全容を明らかにした。国内外で800以上もの洞穴調査に携わる。日本ケイビング協会(初代会長)を設立、洞穴探検の分野をスポーツとして確立させた。愛媛大学で教鞭をとるかたわら石鎚山南面ルートの開拓や、石鎚山・皿ヶ峰・天狗高原に山小屋を建てるなど、愛媛の山岳界をリード。学術探検部・山岳会を創設して多くの後進を育てた。県内の山々を歩き、渓谷などの詳細な地図も残している。その技術と情熱は後進に引き継がれ、今も色あせない。



北極点はブルースカイ 河野兵市 (1958 ~ 2001)

昭和33年、西宇和郡瀬戸町(現伊方町)川之浜生まれ。得意の自転車での日本一周・ニュージーランド一周の旅を足がかりに世界への挑戦をスタート。登山でもマッキンリー・アコンカグアなど世界各地の名峰に登頂を次々と成功させる。平成2年にリヤカーを引いてのサハラ砂漠縦断、平成9年に日本人初の北極点単独徒歩到達を成功させ冒険家として一躍脚光を浴び有名となる。北極点をスタートして瀬戸町に徒歩で戻るリーチングホームの旅の途中で氷の亀裂に遭遇して転落、故郷への旅は未完のままとなってしまった。彼の壮大な旅の軌跡を振り返る。



オーロラに駆けるサムライ 和田重次郎 (1875 ~ 1937)

明治8年、現在の西条市小松町生まれ。父の病死後、素鷲村(現松山市日の出町)へ移る。開発が進んでいた別子銅山の影響もあり「住友になる」が口癖で、アメリカへ密航。捕鯨補助艦バラエナ号で3年間働き、英語・地理を学ぶ。その後、イヌイットの生活向上に尽くし「キング・ワダ」と崇められたほか、多くのマラソン大会・犬橇レースで優勝。金鉱・油田の調査開発にも携わり、多くの足跡を残した。現地では「犬橇使いの神様」と呼ばれ、アラスカ開拓史上名高い「タナナ・スタンピード」は重次郎が引き起こしたとも言われる。母セツに晩年まで孝行を尽くしたことで知られる。



関連事業イベント

みかん一座 ミュージカル 「オーロラに駆けるサムライ 和田重次郎物語」 上映会

日時 / 8月5日(土)
開場 13:00 ~、開演 13:30 ~

入場無料 : 事前申し込みは必要ありません。
当日受付いたします。

場 所 / 愛媛県生涯学習センター 県民小劇場
協 力 / 株式会社愛媛CATV・みかん一座



たんけん だん めいろ ぼうけん 探検! 段ボール迷路冒険コーナー

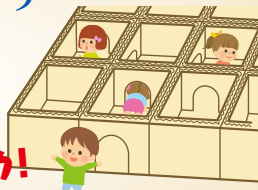
日時 / 7月15日(土) ~ 8月31日(木)

参加無料 : 企画展開催中は、毎日実施します。

場 所 / 愛媛県生涯学習センター
アトリウム特設会場

対 象 / 幼児から小学校高学年まで

宝ものを
ゲットしよう!



河野順子講演会

「愛媛で生まれた冒険家の絆
~河野兵市の終わらない旅と夢」

日時 / 8月8日(火) 13:30 ~

受講無料 : 事前申し込み (先着順定員 60名)
電話・FAX・はがきでお申し込みください。

場 所 / 愛媛県生涯学習センター 研修室

講師紹介 / 河野順子氏は河野兵市配偶者。

「河野兵市 心と夢クラブ」の代表をつとめる。



山内平三郎講演会

日本洞穴探検の先駆者
「山内浩」が残したもの

日時 / 8月20日(日) 13:30 ~

受講無料 : 事前申し込み (先着順定員 60名)
電話・FAX・はがきでお申し込みください。

場 所 / 愛媛県生涯学習センター 研修室

講師紹介 / 山内平三郎氏は山内浩親族。沖縄鍾乳洞協会理事長。
石垣島の白保竿根田原洞で日本最古の人骨を発見。



お問い合わせ
お申し込み

愛媛県生涯学習センター

指定管理者 / ㈱ レスバスコーポレーション

松山市上野町甲 650 番地
TEL 089-963-2111 FAX 089-963-4526
URL <http://www.i-manabi.jp/>